

新名称

「QC七つ道具」手法の基本と活用法

実施日 2024年11月28日(木),29日(金)

(応募締切日 2024年10月24日 11月14日必着)

締切延長しました！  
受講者募集中です

企業の皆様におすすめ！  
生産・工程管理

QCを基本から学びたい方は  
当セミナーを！



■こんな人に向けています。

- ・QCを基本から学びたい方
- ・以前の学びをリニューアルしたい方
- ・生産現場に携わっている方

■セミナーの概要

セミナーNo	1210	実施場所	産業技術短期大学校(最寄駅:相模鉄道「二俣川駅」)
内容	「QC七つ道具」とは何か、目的、使い方を学びます。さらに、分析結果からわかることを共有し、どのような時に「QC七つ道具」を使用するかなどの理解を促進します。講義の最後に簡便なケース演習をします。	実施時間	8:50~16:10
		定員	25名 (応募多数の場合は抽選)
カリキュラム概要	1.品質管理の基礎事項 2.QC七つ道具の目的 3.QC七つ道具の概要 4.QC七つ道具の理解・層別・チェックシート・パレート図・ヒストグラム・散布図・グラフ・管理図・特性要因図 5.QC七つ道具の使用例・活用法 6.演習	受講料	6,200円
		使用教材 使用機器 など	■使用テキスト プリント等、配布します。

■申込み方法

電子申請 (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/xa4/seminar/index.html>)

または、往復はがきによりお申込みください (はがき1枚につき1名)

■その他

※応募状況・荒天等により中止となる場合があります。また、定員、実施日、開催時間の変更あるいは実施時間を延長、短縮する場合があります。

※テキストが必要なセミナーの場合は、各自であらかじめ購入していただきます。なお、テキスト代は受講料とは別にご負担いただきます。

※個人情報については、「神奈川県個人情報保護条例」により取り扱い、セミナーに関する業務以外に使用することは一切ありません。

往復はがきの記入方法

<p>切手</p> <p>(返信面)</p> <p>あなたの ①郵便番号 ②住所 ③氏名</p> <p>(裏面は白紙のまま)</p>	<p>(往信面)</p> <p>①ご希望のセミナーNo. ②セミナー名 ③あなたの住所 ④あなたの氏名とよみがな (1枚につき1名) ⑤日中の連絡先と電話番号 (勤務先、携帯電話等) ⑥現在の仕事の職種 (例:製造業)</p> <p>(裏面は短大校の住所・校名を記載)</p>
--	--

問合せ・往復はがきでのお申し込み先

神奈川県立産業技術短期大学校 B スキルアップセミナー担当

〒241-0815 横浜市旭区中尾2-4-1 045(363)1234

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bt2/kcit/seminar/>



## 当セミナーのワンポイントアドバイス

### ■ QC【英】quality controlとは

品質管理のこと。科学的に製品の品質を管理する方法で、管理図法、層化法、対照法、相関法などを使う。QC活動を現場段階で行なう従業員の小集団をQCサークルというが、これはわが国独特のもので、メーカーのみならず第三次産業にも急速に普及した。製造現場からスタートしたQC活動は、今日では、営業・企画・開発・総務・経理などの非製造部門をも含めた全社的なQC運動として定着し、これをTQC運動と呼んでいる。販売面では、目標を設定し、その実践方式を編み出し、プラン・ドゥ・チェック方式を実践する「方針管理」と、日常の営業活動でムリ・ムダ・ムラを排除する改善運動としてのサークル活動がある。

(weblio辞典 大車林より)

## 当セミナーテキストの内容(抜粋)

### 品質管理の基礎事項

第二次世界大戦後、SQCがアメリカによって紹介された。(Statistical Quality Control:統計的品質管理) TQC活動の時代 (Total Quality Control:全社的品質管理) 1970年代 1980年代 (ボトムアップ活動) QCサークルの全盛時代 1980年代に、アメリカの産業界が日本のTQC活動を研究して、「6シグマ」を開発した。TQMの時代 (Total Quality Management:総合的品質管理) 1996年に、日科技連がTQCをTQMIに改称した。

## ビジネススキル系・生産管理系のセミナー

日ごろの仕事にプラスになる26講座のセミナーをご用意しています。